



尚徳福祉会日野保育園 2019年2月

梅が咲き始め、春がもうすぐそこまで来ていることを知らせてくれている今日この頃ですが、まだまだ寒い日々が続いています。

気温に合わせた衣服の調整をしながら、体調を崩さないように手洗いうがいをしていきたいと思います。



「豆まき」

2月1日には「豆まき集会」がありました。鬼のお面を作りながら「おに、こわくないよ」「おにがきたらやっつけちゃうんだ」と元気な声が聞こえていましたが、「豆まき」の日が近づいてくると、「おめんつけるからだいじょうぶかな」「おにはどこからはいつくるの？おへやには、はいれないようにしてね」とだんだん弱気になってきた子どもたちです。当日は元気に『赤鬼と青鬼のタンゴ』を踊り、いざ鬼の登場に表情は少し引きつりながらも「やっつけてやる！」とたくましく鬼に向かっていく子や「やっぱり怖い…」と玩具棚の間に入り、目をつむる子もいましたが、怒りんぼ鬼、泣き虫鬼を退治することができたようです。



「なかよし遠足」

2月21日（木）は、「なかよし遠足」があります。幼児クラスでの最後の遠足で、「日野中央公園」の広場でリレーやフラフープくぐり、ボーリングなどで異年齢児と遊びます。お弁当と水筒等のお支度をお願いします。詳しいことは後日お知らせいたします。



「やってあげようか？」

上着のファスナーがなかなかうまく上がらなかった友だちに、「ぼくがやってあげようか？」と手伝う姿が見られました。初めの噛み合わせが硬くなり、自分ではなかなかやりづらいものです。友だちが困っているのを見て、手伝う姿にとってもほっこりした気持ちになりました。また、園庭でも、たんぼぼ組の友だちの靴や靴下を履かせたり、脱がせたりするお手伝いや、転んで泣いてる姿に気づくと、涙を拭いて慰める場面もあります。周囲の様子にも気づき、相手を思いやる気持ちも育っていることに、嬉しく思いました。

